

大志を持って 未来を変える成果を目指せ

創発的研究支援事業
第4期公募開始!



支援期間
原則7年(最大10年)
研究費最大
5000万円
本学独自の
サポートも充実

JST創発的研究支援事業(創発)は、短期的な成果主義に陥ることなく、研究者としての資質を重視するとともに多様性と融合に配慮して創発的研究を支援し、破壊的イノベーションにつながる成果が生み出されることを目指します。また、選ばれた研究者が思う存分その能力を発揮できるよう、所属機関が研究環境の整備に努めることを期待するとともに、科学技術振興機構を中心に関係者がきめ細かな支援を行うこととしています。

創発的研究支援事業に関心を持つ研究者の方々へのメッセージ(令和2年6月1日文科科学大臣)より抜粋

公募情報

- 事業や公募情報の詳細はJSTウェブサイトを確認ください。→ www.jst.go.jp/souhatsu/
- JSTによる募集説明会(8月30日、9月13日、10月3日)
- 公募/採択および一部の「創発の場」の活動を「パネル」が中心となり実施します。
2023年度公募より、「人文社会審査チーム」が加わりました。



応募締切

- 事前に担当支援室等に連絡し、申請者の所属部局長の承認を得る必要があります。
- 学内締切(本部外部資金課):2023年10月18日(水)10:00
- 研究提案の受付締切(e-Radによる申請):2023年10月25日(水)正午

RISS 整理番号:10884
※学内IPからのみ
アクセス可能です。



URAの創発獲得支援

1. 申請書改善支援・ヘルプデスク
2. 申請前の個別ヒアリング会
3. 創発採択者によるセミナー&相談会
4. 模擬ヒアリング審査のアレンジ

● 詳細・申し込みはCOTRE
ura.sec.tsukuba.ac.jp/archives/41261



筑波大独自のサポート

- 最大200万円のスタートアップ支援*
- PI人件費制度適用(直接経費700万円以上の課題)
- 研究室(実験室)確保や学内業務における配慮*
- 公募スペース優先利用、スペースチャージ無償化*
- 共用機器の優先利用*・無償化* ● バイアウト制度適用
- URAの伴走支援 ● 研究マネジメントセミナー・研究交流会等開催

その他、創発担当の学術専門員の整備や支援人材雇用の経費支援を検討中。

※:現在準備中の制度